

# 2023年3月期 決算説明資料

2023年5月12日

田中建設工業株式会社

(東証スタンダード:1450)

<b>1</b>	<b>会社概要</b>	・・・2
<b>2</b>	<b>2023年3月期 実績</b>	・・・5
<b>3</b>	<b>前中期計画の振り返り</b>	・・・13
<b>4</b>	<b>中期経営計画</b>	・・・16
<b>5</b>	<b>2024年3月期 計画</b>	・・・24



1

# 会社概要

会社概要 / 企業理念 / 経営理念 / 特徴 / ビジネスモデル

田中建設工業株式会社



# 会社概要

人にやさしい環境づくり

会社名	田中建設工業株式会社
設立	1982年2月3日
所在地	東京都港区新橋四丁目24番11号
代表者	代表取締役社長 中尾 安志
資本金	297,156千円
従業員数	101名 (2023年3月末)
主要株主	スリーハンドレッドホールディングス株式会社 66.45% (創業者 田中俊昭の資産管理会社)
事業内容	建築構造物解体工事の施工及び施工管理

## 企業理念

「子供たちに何が残せるか」を常に考え、明日のために今日できることを実行し、社業を通じて「人にやさしい環境づくり」に貢献します。

## 経営理念

### 思いやり

TANAKENは、「環境への思いやり」「お客さまへの思いやり」「地域への思いやり」「社員及び家族への思いやり」を大切にします。

### 信頼

TANAKENは、「技術への信頼」「会社への信頼」「社員への信頼」を基に、お客さまからの揺るぎない信頼と評価を得ることを目指します。

### 感謝

TANAKENは、「お客様への感謝」「家族・仲間への感謝」「仕事への感謝」を胸に刻み、社会の発展に貢献します。

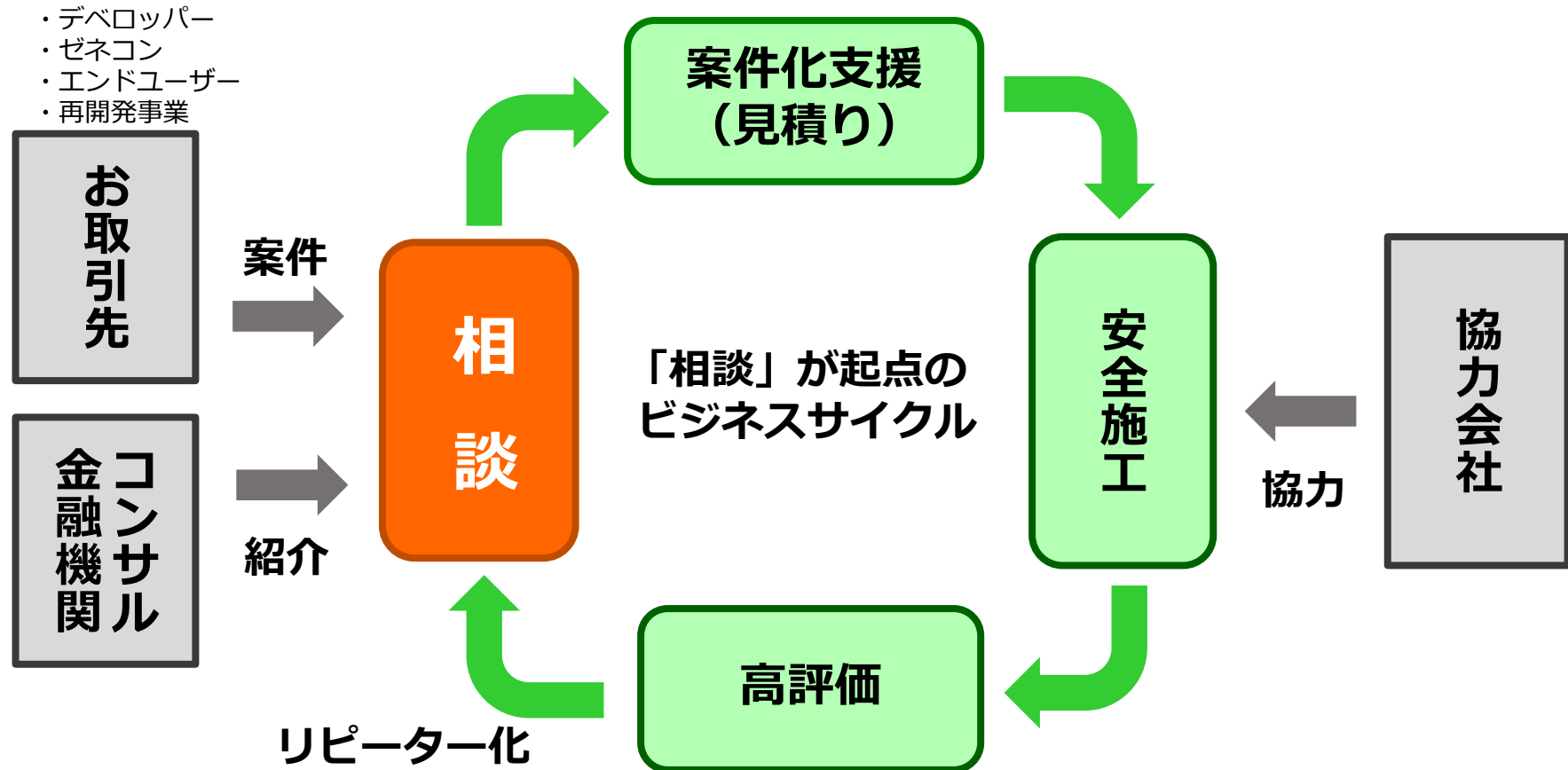
## 特徴

- 1 建築構造物の解体に関する工事をワンストップで受注・施工が可能
- 2 解体工事は協力会社が行い、当社は**施工管理、安全管理、近隣対応に集中**
- 3 施工管理に徹した「**持たざる経営**」(※)により**高い経営効率を実現**  
(※当社は重機を一切保有していません)

## ビジネスモデル

- 長年にわたり安心・安全な施工管理を積み重ね、**収益性と安全性を兼ね備えたビジネスモデルを構築**
- 相談を起点とした効率的な営業サイクル
  - 安心・安全な施工管理と丁寧な近隣対応が高い評価
  - 大型工事の元請受注を可能とする良好な財務内容

- 安心・安全施工をベースに、「相談」を起点とした効率的な営業サイクルを構築
- 元請率・リピート率とも高水準を確保、工事規模・工期に偏りなく、リスク分散



2

## 2023年3月期 実績

損益実績／財務状況／受注状況／ビジネスモデル強化／主要指標

田中建設工業株式会社



# 2023/3期 損益実績

人にやさしい環境づくり

- 老朽化建物の増加、再開発等の活性化により解体工事の受注環境は堅調に推移
- 一部の大型工事の原価見直し等により、2月公表の修正見込を下回ったものの、再開発案件、大規模案件の順調な進捗により、当初計画比 増収増益で着地

金額単位：百万円

	22/3期 実績	23/3期 当初計画	(参考) 修正予想	23/3期 実績	前期比	当初 計画比	修正 予想比
売上高	9,824	10,300	11,730	<b>11,246</b>	1,422	946	▲484
売上総利益 (率)	2,138 21.8%	2,317 22.5%	— —	<b>2,332</b> 20.7%	194 ▲1.1%	15 ▲1.8%	— —
販売費及び一般管理費	720	849	—	<b>771</b>	51	▲78	—
営業利益 (率)	1,418 14.4%	1,468 14.3%	1,880 16.0%	<b>1,560</b> 13.9%	142 ▲0.5%	92 ▲0.4%	▲320 ▲2.1%
経常利益 (率)	1,434 14.6%	1,482 14.4%	1,900 16.2%	<b>1,600</b> 14.2%	166 ▲0.4%	118 ▲0.2%	▲300 ▲2.0%
当期純利益	967	996	1,250	<b>1,086</b>	119	90	▲164

# 2023/3期 財務状況

人にやさしい環境づくり

- 現預金減少は、元請率向上（57%→77%）による立替負担の増加によるもの
- 完成工事未収入金が増加しているが、回収面において懸念のある先はない
- 自己資本比率70%超と良好な財務内容を維持し、資金調達余力あり（総枠27億円）

金額単位：百万円

	22/3期	23/3期	増減	備考
流動資産	5,864	<b>6,718</b>	854	完成工事未収入金3,779（+1,430）
うち現預金	2,976	<b>2,282</b>	▲694	元請工事の立替負担増加により減少
固定資産	1,186	<b>1,299</b>	113	新本社敷金+90、投資有価証券再評価+26
流動負債	1,510	<b>1,722</b>	212	未払法人税等+64、工事未払金+50
うち有利子負債	—	—	—	借入枠の利用なし
固定負債	100	<b>78</b>	▲22	
純資産	5,439	<b>6,217</b>	778	当期純利益+1,086、配当金▲317
総資産	7,050	<b>8,017</b>	967	
自己資本比率	77.1%	<b>77.5%</b>	0.4%	高水準を維持
ネットキャッシュ	2,976	<b>2,282</b>	▲694	



# 2023/3期 受注状況

人にやさしい環境づくり

- 既存取引先に加えて、再開発、新規開拓への注力により、受注高は大幅増加
- 繰越受注高は5,381百万円であり、今後、更なる受注の積み上げを図る

金額単位：百万円

	2021/3期 実績	2022/3期 実績	2023/3期 実績	前期比
前期繰越受注高	4,490	4,427	4,545	118
当期受注高	8,948	9,942	<b>12,082</b>	<b>2,140</b>
当期完工高	9,011	9,824	11,246	1,422
当期繰越受注高	4,427	4,545	<b>5,381</b>	<b>836</b>

# ビジネスモデルの強化（フロービジネスのストックビジネス化）

人にやさしい環境づくり

- 相談を起点とした効率的な営業サイクルを構築、小規模・短工期でリスク分散
- 一方、**絶えず受注を取り続ける必要があるフロービジネスであり、ストック化が課題**

- 中長期的な視点に立った**相談ベースの提案営業（2～3年先）**に注力
- 営業案件ストックの持続的な維持拡大により、安定的な受注獲得に繋げる
- 営業案件ストック残高は、400億円超を維持していく

## 営業案件ストック残高

金額単位：百万円

	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	前期比
件数	136	198	185	<b>182</b>	▲3
金額	28,554	42,814	41,661	<b>46,263</b>	4,602

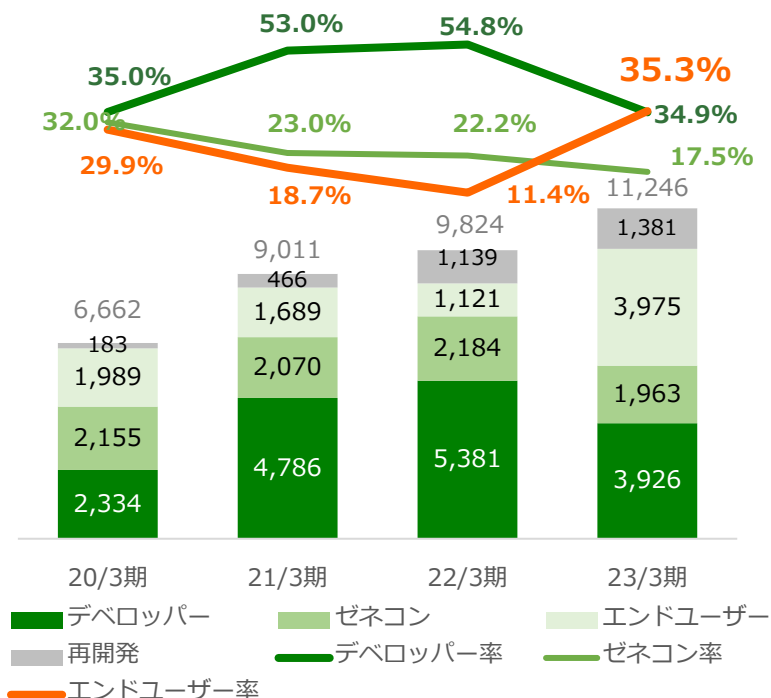
# 主要指標 1（営業先別、請負先別の売上高）

人にやさしい環境づくり

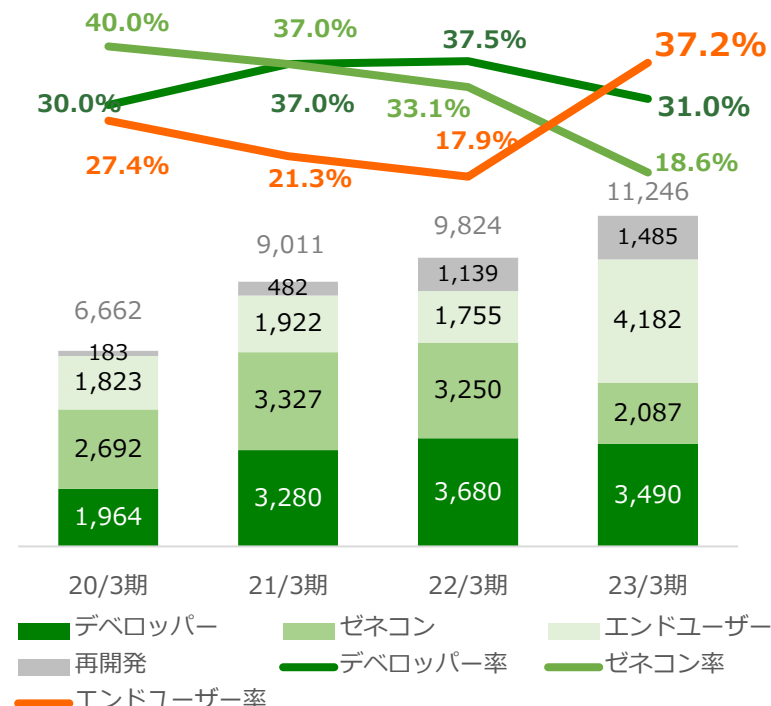
- 営業先別、請負先別とも、デベロッパー、ゼネコンは資源高の影響もあり減少傾向
- 一方、新規開拓によりエンドユーザー向けが大幅に増加、再開発も着実に増加傾向

金額単位：百万円

## 営業先別売上高



## 請負先別売上高



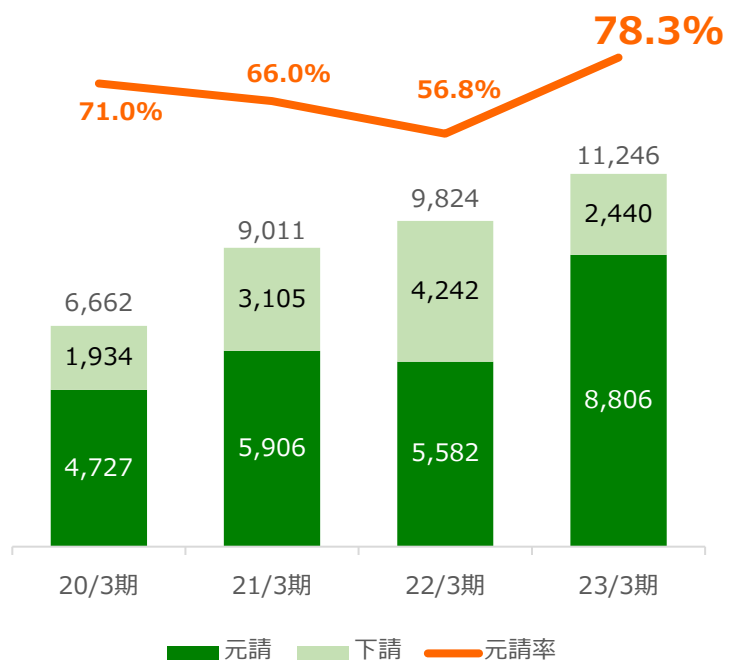
## 主要指標 2（元請率、リピート顧客率）

人にやさしい環境づくり

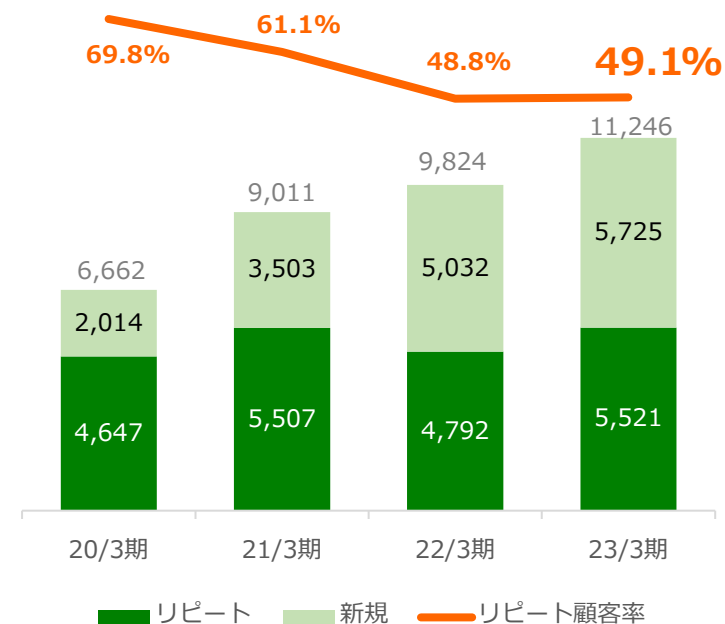
- 新規開拓によるエンドユーザー向け、再開発の増加により元請率が大幅に増加
- 新規顧客の増加によりリピート率は微増だが、今後のリピーター化が期待できる

金額単位：百万円

### 元請率



### リピート顧客率



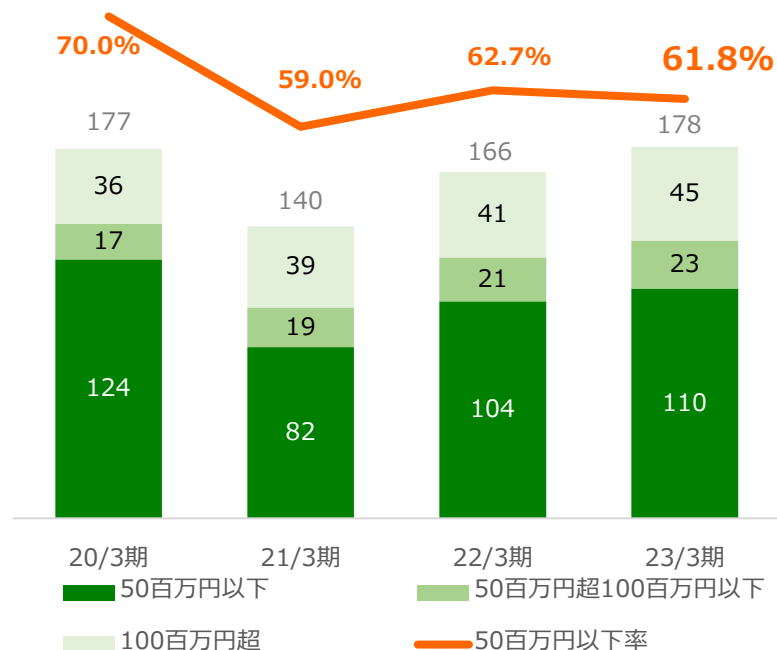
# 主要指標 3 (規模別、工期別の工事件数)

人にやさしい環境づくり

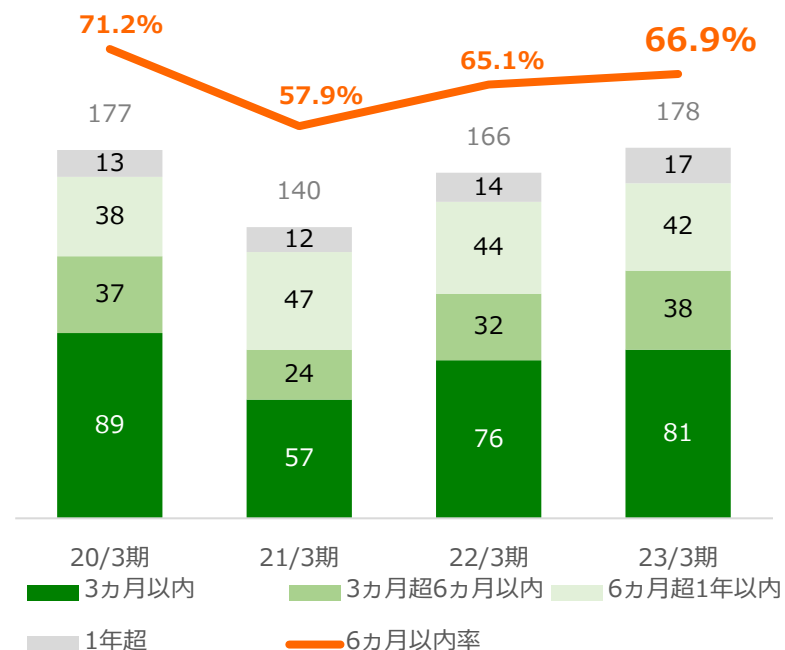
- 受注金額50百万円以下、工期6ヵ月以内の小規模・短工期の工事が60%以上
- ベース売上の確保、施工管理者の適正配置により業績の安定、効率化に寄与

単位：件

## 規模別工事件数



## 工期別工事件数



3

## 前中期計画の振り返り

「TANAKEN “ビジョン100”」 (2020年度～2024年度)

田中建設工業株式会社



# 前中期計画 TANAKEN “ビジョン100” の結果

人にやさしい環境づくり

- 前中期計画は、確固たる企業基盤構築と業容目標として売上高100億円を目指したものの
- 安心・安全施工の積み重ねと、提案起点の営業を着実に実行し、**2期前倒して達成**
- 人員計画未達だが、工事規模拡大（平均38百万円→63百万円）、人財育成等でカバー

金額単位：百万円

	策定時 2020/3期	中期計画 2025/3期	2023/3期 実績	計画比	達成率
売上高	6,662	10,000	<b>11,246</b>	1,246	112.5%
売上総利益 (率)	1,409 21.1%	2,100 21.0%	<b>2,332</b> 20.7%	232 ▲0.3%	111.0% 98.6%
営業利益 (率)	796 11.9%	1,200 12.0%	<b>1,560</b> 13.9%	360 1.9%	130.0% 115.8%
経常利益 (率)	831 12.5%	1,220 12.2%	<b>1,600</b> 14.2%	380 2.0%	131.1% 116.4%
当期純利益	551	809	<b>1,086</b>	277	134.2%
人員 (うち施工管理者)	80名 40名	115名 60名	<b>101名</b> <b>47名</b>	▲14 ▲13	87.8% 78.3%

# 前中期計画の営業戦略及び施策の実施状況

人にやさしい環境づくり

営業戦略		実施状況
1	既存取引先との深耕と新規顧客の開拓	住宅系以外への営業展開、新規開拓により受注増加
2	大型再開発案件、マンション等の建替え案件の獲得	市街地再開発案件の受注獲得、引き続き営業継続中
3	社会潮流を捉え、地方含めた新たな解体需要案件化	銀行紹介等により受注につながった案件あり
4	官庁市場への参入	市街地再開発案件の受注獲得等、実績積み上げ中

主要施策		実施状況
1	施工管理及び現場バックアップ体制の強化	現場ITサポートシステム“ALMIGHTY”により、現場の事務効率化、サポート体制強化
2	技術開発の活動強化	三次元CAD活用で見える化と精度向上 施工の安全性・効率性向上の技術開発着手
3	安全管理体制の強化・充実	労働安全衛生マネジメントシステム ISO45001の認証を取得し、管理体制強化
4	建設業向けERPシステム導入	新たな基幹システム導入により、事務の効率化・合理化、月次処理の迅速化
5	働き方改革の推進	元請現場での土曜日休業推進や毎週水曜日のノー残業デー実施等により就労環境改善



4

## 中期経営計画 (2023年度～2025年度)

「TANAKEN “Vision NEXT 10” Primary Phase」

田中建設工業株式会社



# 長期ビジョン TANAKEN “Vision NEXT 10”

人にやさしい環境づくり

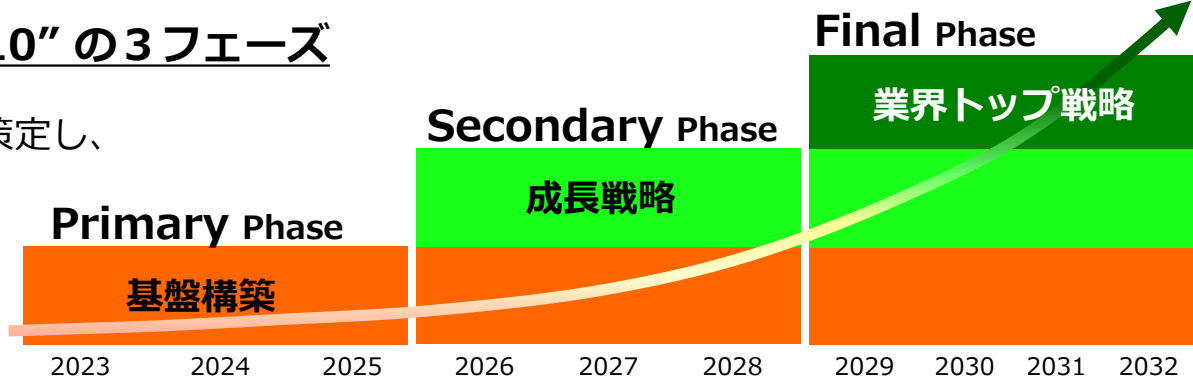
- 創業40周年及び前中期計画の2期前倒し達成を機に、更なる飛躍への10年を展望した長期ビジョン「TANAKEN “Vision NEXT 10”」にて当社のあるべき姿を明確にした
- 10年をPrimary、Secondary、Finalの3フェーズに分け、あるべき姿の実現を目指す

## TANAKEN “Vision NEXT 10” における10年後のあるべき姿

- 1 将来にわたりお客様から信頼される会社になる
- 2 環境に配慮した安全施工を実現する
- 3 業界のリーディングカンパニーの地位を確実なものにする

## TANAKEN “Vision NEXT 10” の3フェーズ

3フェーズに分けて中期計画を策定し、  
PDCAサイクルを回しながら  
あるべき姿の実現を目指す



- あるべき姿の実現に向け、2023年度から3年間の中期経営計画 Primary Phase を策定
- 「Primary Phase」は、「基盤構築のための3カ年計画」という位置づけ
- 「持たざる経営」の競争力の源泉である人財、技術、アライアンスに積極投資

## TANAKEN “Vision NEXT 10” Primary Phase の基本方針

「持たざる経営」の競争力の源泉である人財、技術、アライアンスを強化する

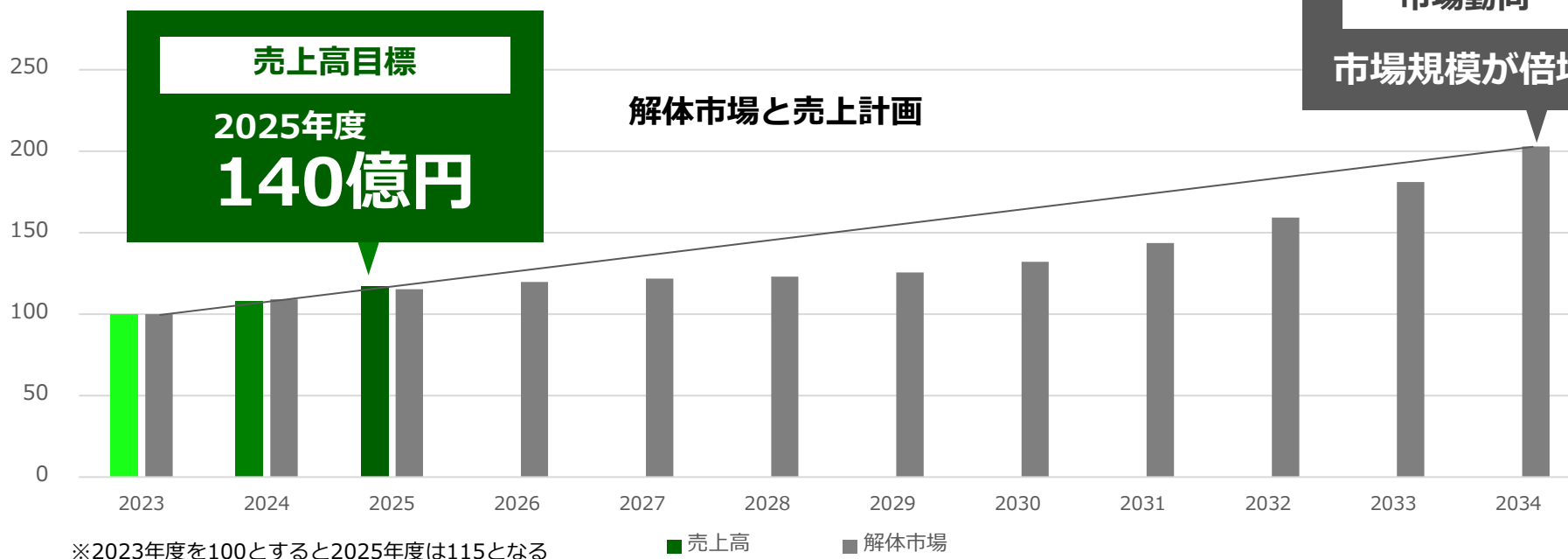
- 1 TANAKENブランドの価値向上
- 2 人財の量的・質的な充実
- 3 安全施工のための技術開発強化
- 4 アライアンス戦略・DX戦略の拡充
- 5 企業価値向上に寄与するSDGs・ESG経営



- 解体市場 約2,769億円（当社算出※）に対して売上高100億円超の解体工事業者はわずか
- 成長市場であるが、解体工事業者は6万社超、新規参入・コスト増加により競争激化
- 45年前の建設投資額から解体市場の推移を予測（当社算出）、2034年には市場規模倍増

※解体市場規模は、「建設工事施工統計調査報告 国土交通省」（令和3年）の「はつり・解体工事業」の完工高、元請比率から当社算出。

## 解体市場の拡大を見据え、売上高目標を設定



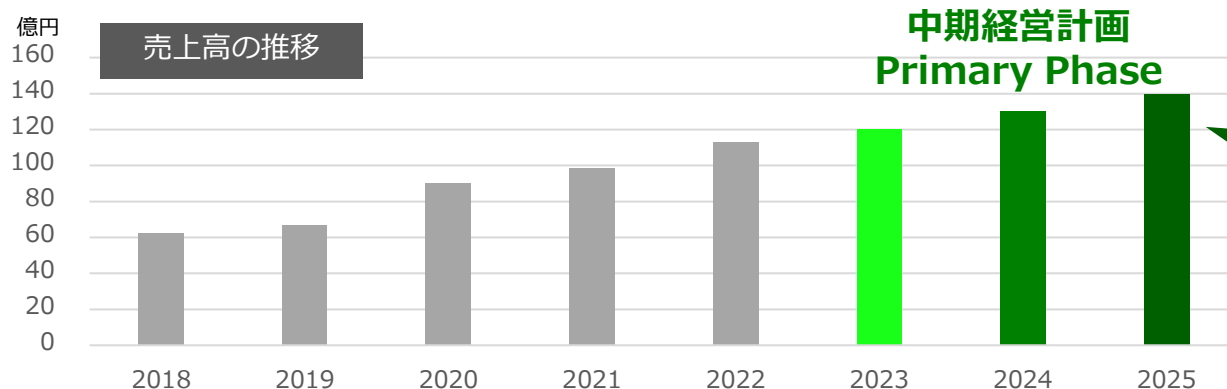
# Primary Phase の計数計画

人にやさしい環境づくり

- 10年後を見据えた基盤構築に注力する3年間、人財・技術・アライアンスに積極投資
- 増収トレンドは維持するが、基盤構築投資により一旦減益、2024年度以降は増益計画

金額単位：百万円

	2022年度 実績	2023年度 計画	2024年度 計画	2025年度 計画
売上高	11,246	12,000	13,000	14,000
営業利益	1,560	1,385	1,600	1,700
当期利益	1,086	945	1,100	1,200
人員	101名	124名	140名	160名
うち施工管理者	47名	55名	65名	70名



2025年度  
売上高  
140億円

## 営業の施策

### ● 都市再生案件の取り込み

- ・再開発、商業施設等の大規模案件において、元請率を高める営業活動を展開

### ● 顧客基盤の充実

- ・既存顧客のリピート化、新規開拓により顧客基盤拡充、顧客満足度を向上

### ● 地下関連工事の受注拡大

- ・杭抜き、地中障害対応、湧水対策等の地下解体関連工事の受注に注力

### ● 環境改善関連工事の受注

- ・石綿除去、土壌改良等の環境改善分野の需要の取り込み



元請工事の  
受注拡大

## 人財採用・育成の施策

### ● 人財採用の強化

- ・本社移転、完全週休二日制の全社導入等による就労環境の改善
- ・人事セクション増員による採用体制の強化、入社後研修の充実

### ● 人財マネジメント体制の強化

- ・人事制度・評価体系の再構築、研修制度の拡充
- ・個々の役職員のキャリア開発プロセスの充実



人財確保への  
積極投資

## 技術開発の施策

### ● 天蓋工法等、既存工法の更なる安全施工技術の開発

- ・ 既存工法を発展させ、更なる安全と効率化を実現する

### ● 新工法開発

- ・ 専門業者、専門家との協働を進め、新工法の開発促進

### ● 現場ITサポートシステムのレベルアップ

- ・ 現場ITサポートシステムを改善し、バックアップ体制をレベルアップ



技術力向上で  
競争力を強化

## アライアンス強化・DX強化の施策

### ● 協力会社とのアライアンス強化

- ・ 協力会社とのパートナーシップ拡充
- ・ TANAKEN安全協力会を通じた協力会社支援体制の強化

### ● 施工管理を中心とした垂直・水平のアライアンス強化

- ・ 解体、石綿、土壌改良、地下工事等の専門会社とのアライアンス強化
- ・ 持たざる経営に資するアライアンスの探索

### ● 社内ネットワーク環境の再構築をベースにDX強化を促進

- ・ 本社移転を機にDX化を進め、業務効率化、セキュリティ強化を図る



飛躍のための  
重点項目



業務効率化  
セキュリティ強化

## タレントマネジメント及びDXによる効率化と働きがい

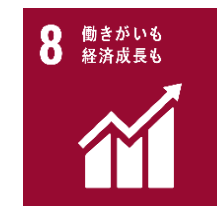
### ● 働き方改革の推進（ワーク・ライフ・バランスの改善）

- ・ 本社移転、週休二日制の全社導入、人事セクション強化により就労環境を改善
- ・ 人事制度、評価体系を再構築し、キャリアパスによる人材育成システムを構築

### ● DXによる業務効率化

- ・ 社内ネットワーク環境の再構築をベースに、DX化を強化し、業務を効率化
- ・ 現場ITシステム再構築、ERP本格稼働による事務効率化と原価管理の精緻化

## SDGsの17のゴール



## 都市再生により、サステナブルな循環型社会の形成に貢献

### ● 解体工事による都市再生への貢献

- ・ 老朽化した建物の解体により都市を再生し、発生した廃棄物はリサイクル
- ・ 石綿・フロン等の有害物を建物から除去し、適正に処理
- ・ 汚染土壌改良等の地下工事に注力し、土地の再生と有効利用に貢献

### ● リサイクルの推進

- ・ 建設廃棄物、作業服、ヘルメットをリサイクルし、循環型社会の形成に貢献

### ● カーボンニュートラルへの貢献

- ・ 社内照明LED化、社有車は低排出車採用、CO2排出を抑制した再生エネルギーを利用

## SDGsの17のゴール





5

# 2024年3月期 計画

計数計画／営業施策／主要施策／配当政策

田中建設工業株式会社



# 2024/3期 計数計画

人にやさしい環境づくり

- 中期経営計画 Primary Phase の初年度は、「持たざる経営」の競争力の源泉である人財、技術、アライアンスに積極的に投資し、基盤構築に注力する
- 売上高120億円と増収トレンドを維持するが、基盤構築投資を織り込んだ減益計画
- 特に人財採用・育成及び協力会社とのアライアンス強化に注力するとともに、本社移転を機にネットワーク再構築、DX化を推進し、生産性向上による増益を目指す

金額単位：百万円

	23/3期 実績	24/3期 計画	前期比	中期計画 26/3期
売上高	11,246	<b>12,000</b>	754	14,000
営業利益	1,560	<b>1,385</b>	▲175	1,700
経常利益	1,600	<b>1,400</b>	▲200	1,750
当期純利益	1,086	<b>945</b>	▲141	1,200
人員	101名	<b>124名</b>	23名	160名
うち施工管理者	47名	<b>55名</b>	8名	70名

## <基本方針>

環境・安全施工が重視される都市部の案件に注力し、以下の施策により受注拡大を図る

## 営業戦略と主要施策

1	都市再生案件の取り込み	再開発、商業施設、物流センター等の大規模な都市再生案件を中心に、元請工事案件の受注に注力し、受注拡大を図る
2	顧客基盤の充実	デベロッパー、ゼネコン等の既存顧客基盤に加えて、新規開拓に注力し、顧客基盤の更なる拡充を図る
3	地下関連工事の受注拡大	地下解体関連工事（杭抜き、CD工法、BG工法、地中障害対応、流動化土打設、湧水対策等）の受注に注力し、受注拡大を図る
4	環境改善関連工事の受注	石綿事前調査の有資格者の増員や協力会社との連携により、石綿除去、土壌改良等、環境改善分野の需要取り込みを図る。

## 主要施策

1	人財採用強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本社移転、完全週休二日制の全社導入等による執務環境の改善</li><li>・ 人事セクション増員による採用強化、入社後研修の充実</li><li>・ 施工管理者のみならず、全職種で即戦力、次世代社員を採用</li></ul>
2	人財マネジメント体制強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 人事制度、評価制度の再構築、研修制度の拡充</li><li>・ 働き方改革の推進、時間外労働削減への取り組み</li></ul>
3	技術開発の強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 天蓋工法等、既存工法の更なる安全施工技術の開発</li><li>・ 専門業者、専門家との協働による新工法の開発</li><li>・ 現場ITサポートシステムのレベルアップ</li><li>・ BIM三次元モデルの更なる活用</li></ul>
4	アライアンス強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 協力会社とのパートナーシップ拡充</li><li>・ TANAKEN安全協力会による安全衛生指導・教育支援の強化</li><li>・ 施工管理を中心とした垂直・水平のアライアンス探索</li></ul>
5	DX強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本社移転を機に社内ネットワーク環境を再構築</li><li>・ DX化を進め、業務効率化、ペーパーレス化、セキュリティ強化</li></ul>

# 2024/3期 配当政策

人にやさしい環境づくり

## 配当方針

当社は、継続的な成長と株主の皆様への利益還元を経営の最重要目標として位置づけており、継続的な成長のための財務体質の強化と株主の皆様への継続的かつ安定的な利益還元とのバランスを勘案しつつ、株主の皆様への利益還元を充実していくことを基本方針としています。

## 23/3期 配当予定

2023/3期は、当期純利益が計画を上回ったこと、前中期計画を2期前倒しで達成したことから、当初予想の1株当たり73円の普通配当に7円増配し、80円といたします。

1株当たり配当金	80円00銭
1株当たり当期純利益	249円86銭
配当総額	347,956千円
配当性向	32.01%

## 24/3期 配当予想

上記配当方針に則り、予想される業績・純資産を考慮して、1株当たり73円00銭の期末配当を予想しております（配当性向33.58%）

本資料にある内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な重要要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりえることをご了承ください。

## IRに関するお問い合わせ先

田中建設工業株式会社 管理本部

TEL : 03-3433-6401

\*受付時間 : 9:00-17:00

(土日祝日および当社休業日を除く)